

イベント

食欲の秋

愛南まるゴチ秋の味覚祭



秋の味覚を求めてたくさんの方が来場

愛南町の秋の味覚を味わってもらおうと、愛南まるゴチ秋の味覚祭（愛南食のイベント実行委員会主催）がレクザム愛南工場敷地内（広見）で行われました。

イベント当日は、じゃこ天やじゃこカツ、カツオのフライカレー、和牛バーベキュー、カワハギの串揚げなど、地元の特産品やご当地グルメの販売が行われ、来場者が愛南町の食材を満喫しました。



鯛餃子と鯛めし

恒例となつたうり坊レース

愛南漁協女性部は、地元の養殖真鯛を使った鯛めしや鯛餃子の販売を行いました。同部に所属する内田留美さん（弓立）は「新鮮な真鯛を使って作っている。地元の特産品である真鯛をたくさんの方に知ってもらいたい」と話しました。

スポーツの秋

リレーマラソン大会



勢いよくスタート

愛南まるゴチ秋の味覚祭の企画として、リレーマラソン大会が開催されました。4〜10人でチームを組み、所定の距離を交代しながら走り切るもので、会場となったレクザム愛南工場の広大な敷地を利用して大会が行われました。

本大会は、1周1・4キロのコースを30周するフルの部と15周するハーフの部が設けられ、県内外から総勢55チーム421名が参加しました。フルの部では宇和島陸協plusが、ハーフの部では附属中サッカー部が総合優勝を果たし、初代王者に輝きました。

大会に参加した山本羅偉くん（小6 B&G 御荘海洋クラブ）は「最初の登り坂で抜かれてしまったが、下り坂でたくさん抜くことができた。大会前に練習した成果が出せて、気持ちよく走れた」と力を出し切った様子でした。

立花弘樹実（ひろき）行委員会会長は「食のイベントにリレーマラソン大会を併せて開催したことで、会場の雰囲気も良くなり、参加者や来場者にも喜んでくれたのではないかと。愛南町をPRすることができて最高の大会になった」と手応えを感じていました。



チーム全員でゴール